

放置自転車等総合対策業務委託に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1. 案件名称

放置自転車等総合対策業務委託

2. 選定した委託予定事業者

アーキエムズ・フジカ業務委託特別共同企業体

3. 公募期間

令和6年9月9日から11月11日まで

4. 学識経験者の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略）

氏名	所属・役職等
小川 圭一	立命館大学理工学部環境都市工学科教授
山口 行一	大阪工業大学工学部都市デザイン工学科教授
中井 宏	大阪大学大学院人間科学研究科准教授

(2) 選定委員会の開催日

第1回 令和6年8月1日

第2回 令和6年11月27日

(3) 審査基準

評価項目	評価の着眼点	配点
業務目的及び内容の理解度	・本業務全体の考え方において、キタ・ミナミエリアにおける放置自転車の現状と課題、本業務の目的等を十分に理解し、提案がなされているか。	10
業務計画	・提案内容は放置自転車の削減効果の高い計画の検討・策定が期待できるものとなっているか。 ・放置自転車等の特性分析や交通阻害状況のモニタリング、動態調査、効果測定手法などに民間事業者ならではのノウハウや柔軟な発想・企画力が効果的に活かされ、特筆すべき提案内容となっているか。	40
啓発・撤去業務	・業務の実施体制は、責任者及び人員、配車が適正に配置され、業務計画を確実に実施することが可能な提案内容となっているか。 ・撤去業務における工程を誤り無く適切に実施することが可能な提案内容となっているか。 ・業務の実施にあたり、想定される課題とそれに対する対策を適切に提案されているか。	30
利用者対応	・撤去作業中の対応は責任をもった対応となっているか。 ・コールセンターは責任者及び人員等が適正に配置され、24時間の問い合わせへの対応を確実に実行できる体制となっているか。	10
ICT技術の活用	・撤去作業の遠隔確認や状況把握、協議等を民間事業者のノウハウによるICT技術を活用し、遠隔地にいる市職員とリモート接続により効率的かつ効果的に行えるものであるか。 ・ICT技術の活用により業務の効率化・省力化が図れる提案となっているか。	10
合計		100

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

- ・アーキエムズ・フジカ業務委託特別共同企業体
- ・サイカパーキング株式会社
- ・株式会社3D

全3者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の平均点）（合計点の高い順）

評価項目	A社	B社	C社
業務目的及び内容の理解度	10	7.33	7.33
業務計画	40	29.33	29.33
啓発・撤去業務	26	24	22
利用者対応	8.67	8.67	8.67
ICT技術の活用	10	5.33	6
合計	94.67	74.66	73.33

(6) 選定結果

キタ・ミナミエリアにおける通行環境の改善を目的として、平日及び休日の毎日夕方から夜間における放置自転車等の啓発・撤去及び市民対応をはじめとした抜本的な放置自転車等対策について提案を募集したところ、提案者は3者であった。

審査の結果、臨機応変かつ機動力を生かした啓発撤去体制や自社開発したシステムを導入することで省力化・効率化が図られる等といったアーキエムズ・フジカ業務委託特別共同企業体の提案が選定委員の評価点の平均点が最も高く、かつ60点以上であることから同共同企業体を本事業の委託予定者として選定する。